

当院へのご紹介は事前の予約をお願いします



紹介状持参で当日飛び込み受診（救急以外）は、患者さん自身の待ち時間も長くなり、受診される患者さんの負担が大きくなります。また当日の手術や入院診療が遅延するなど影響があるため、事前の予約取得にご協力をお願いいたします。

外来予約取得方法

①電話での予約

予約センターにお電話ください。

予約センター電話:0238-46-5700(直通)



②FAXでの予約

予約申込書に必要事項記入の上予約センターにFAXください。

予約センターFAX:0238-46-5722(直通)



③予約システム(WEB)での予約

予約システムにて予約取得してください。

***事前にシステム登録が必要になります。**

自分の都合で
受診すっかな



イヤイヤ、紹介は
予約がとれるので
予約しましょう。

予約センター



予約取得してスムーズな診察と
なるよう努めております。
ご活用ください。

あとがき…

お盆過ぎるとめっきり秋めいてきますが、これからが実りの秋。9月26日に登録医総会、11月12日「総合診療」をテーマに市民公開講座を予定しております。またご案内申し上げますので、ぜひ多くのご参加をお願いいたします。



平成28年8月

第47号

医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902・1409

「救急診療と医療連携」

救命救急センター救急科科长（兼）医療連携部副部長 久下 淳史

特集:

医師の紹介

・救命救急センター

救急科科长（兼）

医療連携副部長

久下 淳史

…1

おきびょう夏フェス

2016

…2~3

医療連携・相談室

からのお知らせ

…4

地域の皆様には日頃、救命救急センターの運営に関して御高配いただきありがとうございます。平成24年4月から救命救急センターで診療をしている久下 淳史（くげ あつし）と申します。

現在は救急科専門医・脳神経外科専門医として研鑽させていただいています。救命救急センターで診療させていただいているのは以下の理由からです。

1) 当院開院時には1年6ヶ月間、脳神経外科医として勤務しておりましたが当医療圏で地域医療を担っていくには様々な疾患の初期対応や全身管理の必要性、また高齢者に多い複合疾患に対する包括的な対応の必要性を感じました。

2) 救命救急センターでは軽症から重症、緊急度の高い疾患まで多彩な疾患を扱っており、緊急性の高い疾患に対するファーストエイドを含め、初期診療の研鑽には最適な環境です。専門的な治療に関しては当該診療科の先生方にバックアップをいただき迅速に最善の治療を行っています。また、現在当院では一次・二次救命処置、外傷初期診療、災害医療等のOJT(off the job training)・勉強会を院内の医療関係者はもちろん、救命士等の病院前で活動している方々とも連携して行っています。

研修中の方々にはこうしたOJTと実臨床を経験していただき、診療科が違って職種が違って多職種で共通認識をもって診療にあたるという概念やその手法を学んでもらうための力になればと考えました。

3) 当院は災害拠点病院として災害派遣医療チーム(DMAT)を編成し有事対応への備えも行っています。自身もDMATのメンバーに加えていただきました。東日本大震災・熊本地震等の自然災害やテロなどの人為的災害が頻発している昨今、有事に少しでも役に立てるよう院内また地域の災害医療体制の整備に参加できればと考えました。

以上の事柄を十分に果たしていくことはなかなか困難ではありますが、Keyは医療連携かと思えます。地域の皆様と協力して病院内外がチームレスに円滑に連携できるような体制を目指していきたいと思えます。今後とも御指導・協力をよろしくをお願いいたします。



おきびょう夏フェス 2016

平成 28 年 7 月 31 日開催

今年のおきびょう夏フェスは去年を超える賑わいで、たくさんのご参加に感謝申し上げます。各種コーナーには「まちの保健室」も参加協力いただき、産直市場や出店など所狭し。加えて今年度は救急フォーラムも同時開催ということで「救急のかかり方・選定療養費」について講演会も行われました。今後も地域の拠点となり、地域の皆様に親しまれる病院となれるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

たくさんのご参加ありがとうございました



小桜幼稚園の鼓笛とガード



救急フォーラム



ドクターヘリもやってきた



AED 体験



薬剤部
軟膏調剤



手洗い



THINK FOR ACTION
SUNSHINE HIGH SCHOOL



健康相談・測定 大にぎわい

